



2019年11月1日 第145号 北九州労健連ニュース

TEL 093-871-0449 FAX 093-872-3695

〒804-0094 北九州市戸畑区天神 1-13-13 シェルム天神 1F

北九州労働者
の健康問題連
絡会議 発行

<http://rokenren.com/>

第30回なくせじん肺・アスベスト全国キャラバン北九州集会在、10月10日(木)18時30分から戸畑生涯学習センターに於いて78名の参加で、大盛況のうちに開催されました。

今年は、30回目の節目の年ということ、また九州建設アスベスト第1陣の福岡高裁判決が一月後に迫っているという時期での開催でした。今回の企画のメインとして、北九州市環境局監視課大気騒音係長の小田氏から「北九州市にお



**第30回なくせじん肺・アスベスト
全国キャラバン北九州集会開催**

ける解体工事におけるアスベスト暴露防止対策」の演目で出前講演をしていただきました。1部では、北九州市の監視指導について、石綿について、石綿規制の概要、大気汚染防止法による規制、解体工事に係る監視指導の実際について、



詳細に報告され、市民の通報に対する対応も含めて、積極的に対応している状況を報告されました。2部では、実際にアスベストアナライザーを使って、会場から複数の回答者を選んで4つのサンプルにアスベストが混入しているかどうかを実際に測定しながらクイズ形式で解説されました。最後は、今後とも市内の大気環境保

全に努めてまいりますと締めくくられました。

続いて、「アスベスト除去作業の実態報告」を福建労北九州支部の北川氏から解体工事現場でのアスベスト除去作業の実態報告をしていただきました。作業の実際を詳細に報告していただきましたが、現場監督をする元請けが防塵マスク

すらしない状況にアスベストに対する認識が薄い現状が生々しく語られました。

さらに、北九州労健連の最近のアスベスト対策

について、北九州労健連代表幹事の田村氏から、①「市民アスベスト観察

トレーナー養成講座」開催、②学校ウォッチング、③無届解体などの告発、④北九州市との懇談、⑤なくせじん肺アスベストキャラバン北九州集会を実施してきた内容について、詳細に報告がありました。

最後に、「九州建設アスベスト訴訟の到達」として裁判の状況について、北九州第一法律事務所の池上氏から報告がありました。大阪高裁第3民事判決(9/20)で国に10連勝。東京高裁第10民事判決(3/14)、大阪高裁第4民事判決(8/31)に引き続き、一人親方との関係においても国の責任を認めました。最高裁での勝利のカギは、高裁判決の積み重ねです。公正な判決を求める運動と世論づくりをすすめて、一日も早い全面解決、被害者全員の救済に向けた「救済基金づくり」が望まれます。と締めくくられました。

北九州労健連 第30回 定期総会報告

10月19日(土)北九州労健連第30回定期総会を14団体40人の参加で開催しました。



香川代表幹事の司会ではじまり、29期(2018年12月～2019年10月)の活動総括と30期(2019年11月～2020年

11月)方針案を田村代表幹事が提案しました。

29期は九州セミナーが開催した第5回課題別セミナー「感情労働と健康権」の成功に力を注ぎ、さらにアスベスト対策でも「市民アスベスト観察トレーナー養成講座」を開催し、市民運動としてのアスベスト対策運動の展望を大きく切り開いたこと、北九州労健連の粘り強い運動で北九州市にアスベスト・アナライザーを導入させました。30期は、10年ぶりに開催する「人間らしく働くための九州セミナー」の北九州市での開催を成功させることに全力を注ぎ、北九州における働く

人びとの健康権を守るセンターとして飛躍すること全体で確認しました。



青木代表幹事から、決算・予算(案)の提案、下川会計監事の監査報告、永野議長が30期の役員体制が提案され全体が承認されました。

////////// 会場の発言から //////////

【野澤氏】新日鉄アスベストの会では、2005年製鉄所内で父親が働いていたという方からの相談。救済・労災認定の手続きを協力してきた。「アスベスト問題はこれからだ」さらに運動を

進めていく。

【大島氏】教員のなり手がいない。教員の給料が、北九州市に権限移譲されてから地域手当が一番低い3%に給料が大幅に下がり、教員のブラックな働き方もあり、少しでも条件の良いところに流れている。また、安倍政権は変形労働時間制を導入しようとしておりこれに反対して運動をします。署名の協力を訴えました。

【門岡氏】昨年、韓国で初めて「感情労働」を知りました。サービス業の多くは「お客様は王様です」で労働者が苦しんでおり、労働者・労働組合・行政が協力して対策に取り組んでセンターも設立している。暴言・暴力に対して罰金100万円など、日本でも「お客様は神様です」のお客様ファーストです。韓国の取組みを見て北九州から労働者を守る運動を進めます。

【北川氏】アスベスト除去の現場では、底辺労働者が最悪の現場環境の中で働かされている。マスクもヘルメットも無しで仕事をしている。8月4日の「アスベスト観察トレーナー養成講座」で、アスベストが本当に細かな物質、どれだけの人が理解して仕事に取り組んでいるか、アスベスト問題はこれからどんどん増えていく、真剣に考え取り組んで行く。

第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州 現地実行委員会 結成総会報告

北九州労健連30回定期総会の終了後、第31回人間らしく働くための九州セミナーin北九州現地実行委員会結成総会が、17団体39人の

参加で行われました。

総会では、実行委員長の池上遊弁護士(北九州第一法律事務所)が、「弁護士になって10年、労働事件やアスベスト



問題、原発労働者の裁判や戦争法に反対する運動に関わってきました」こと九州セミナーの歴史は大きい、働く人の健康がない

がしろにされている。北九州で働く人の健康を守る運動をみんなで一緒に作り上げて行きたい」と自己紹介し、学習企画①「8時間働けば誰でも暮らせる社会の実現を！」では、安倍自民党政権による労働法破壊の経過を説明、財界言いなりの「働き方改革」は、労働者の視点が欠落している。総理が自ら議長となり、労働界と産業界のトップと有識者が集まって議論し、私たちの「考え方」を否定するものに、労働者の権利実現のために、労働者自身が憲法や民法を学び、労働組合がここにあることをアピールしてほしい。労働者の権利実現のために弁護士として頑張っていきたい。

学習企画②では、九州セミナー代表世話人議長の田村昭彦医師による「人間らしく働くための九州セミナーとは」についてをパワーポイントを使って、九州セミナーの歴史とこれまでの開催地の模様を説明、31回九州セミナーの成功を北九州労健連運動の活性化につなげる運動に、「楽しくなければ九州セミナーじゃない」と訴えました。

準備会経過報告を、事務局長になった那須隆紀(公益財団法人健和会)さんが、「2011年の東日本大震災の被災地福島で復旧の施工管理業務に携わって来た。朝早くから現場の管理、現地説明会などでサービス残業は当たり前の仕事、働き方をして来た。間違った働き方をして来た。」と自己紹介した後、現地実行委員会申し合わせ事項(案)、現地実行委員会役員体制、今後の活

動提案がされました。

////////// **会場の発言から** //////////
【日高琢二(健和会労組)】

セミナーを成功させたい。21回北九州セミナーの事務局長で、当時メンタルヘルスが深刻でしたので実態調査もやった。日本ではILO条約の批准が追いついてない。感情労働、これまで日本ではなかった。とらえる視点を国際的な目でとらえる。来年のセミナーの成功に向けて、みんなで成功させたい。若い事務局をみんなで支え頑張っていきましょう。

【見口 要(平和・労働・人権北九州共闘センター)】

門司地区労、全労協、ユニオン北九州や原発労働者の裁判もやっている。外国人労働者の実習生の問題など取上げてもらえばと思う。はじめ参加ですが、幅広い連携を九州セミナーで作って行ければ良いと思う。



【杉山正隆(福岡県歯科保健医協会)】

口の中を見れば、その人が歯医者に行けない理由が分かる。安倍首相は、熊本地震、東日本大震災でも「全力でやります」と言うが結局は、自分でやりなさい、自助・協助と言う。色々な人が集まって真実を知り見抜いていきたいと思います。

【中田寛昭(KOHO 労働組合)】

分科会でも勉強になりました。長崎も参加します。

【前田一樹(自治労連北九州市職員労働組合)】

公務労働者も人員削減で、人間働き方ができない状況です。災害対応も普段の仕事もちゃんと出来る人員を要求しています。民間委託、人員削減で住民サービス低下しています。人間らしく働ける職場にするために頑張ります。

第30回人間らしく働くための九州セミナーin 長崎 市民公開講座のご案内

来る11月30日(土)～12月1日(日)長崎大学文教キャンパスに於いて30回目となる九州セミナーが開催されます。今回は二日目に「市民公開講座」として韓国映画「もうひとつの約束」の上映とトークセッションを行います。

2014年2月、1本の映画が韓国で話題を集めました。サムスン電子の半導体工場での労災裁判を描いた「もうひとつの約束」です。

サムスンといえば、韓国のGDPの2割を稼ぎ出し、その資金力で韓国経済の隅々までに影響力を行使するトップ企業です。そんなサムスンの恥部を告発する映画が製作されるというニュースに、業界投資家は二の足を踏んだと。劇場も同様に、サムスンを敵に回すことを恐れ、相次いで上映を見送ったそうです。

にもかかわらず一般の人々の出資で映画は製作され、自主上映会運動が巻き起こるなど、社会現象となりました。軍事独裁から民主化を勝ち取った韓国の民衆は、抑圧の主体が資本へと

移った今も、不正と闘うことをあきらめない。巨大企業に素手で闘いを挑むかのごときこの映画に、私たちは何を学ぶことが出来るでしょうか。この映画は、サムスン電子半導体工場で働くうち、白血病を患って2007年に22歳で他界したファン・ユミさんの父親、ファン・サンギさんの裁判闘争を基に製作されたものです。

この公開講座では、映画上映の他にファン・



サンギさんと裁判を支援していた弁護団の若手弁護士のイム・ジャ

ウン弁護士が登壇しトークセッションを行います。多くの方の参加をお待ちしています。

市民公開講座への申し込先

長崎現地実行委員会 FAX:095-879-3388

メール: kyusemi30nwgasaki@gmail.com

九州セミナーin 長崎 全ての企画が確定!

記念講演『EUの労働時間法制とその含意』

労働政策研究・研修機構所長の濱口桂一郎先生
記念講演後は国際的視点で「働く人々の健康権」を考えるシンポジウムを行います。

シンポジストは、①外国人研究者から見た日本の過労死・過労自死：フランスの労働監督官労働組合のソナム県書記長のクバン・クレパンさん、②韓国の働く人々の健康権を獲得するダイナミックな運動：韓国グリーン病院附属労働環境健康研究所所長のイ・ユングン先生、③消費者の視点で国際労働衛生を考える＝フェアトレード：茨城大学の長田華子先生、④ILOなど国際労働基準をどのように活かしていくか：全労連国際部長の布施恵輔さん

二日目(12月1日)分科会と同時並行で開催。

特別企画(1)感情労働と健康権(9時～12時)

中部講堂

●イム・サンヒョク先生(韓国グリーン病院
院長) 9:00～10:45

○中村美穂先生(長崎国際大学・臨床心理士)
11:00～12:00

特別企画(2)なくせじん肺アスベスト全国キャラバン30周年

弁護士・・・・・・・・歴史的意義
村里正昭さん・・・・・・・・開始の目的
中里研哉さん・・・・・・・・到達、今後の課題
伊藤泰司さん・・・・・・・・今後のアスベスト被害をどのように防ぐか
フランス CGT (打診中) 社医研 青木珠代